

## クラスの様子【9月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 個々に合った生活リズムの中で、ふれあい遊びや手遊びを楽しんだり、戸外に出たりして、機嫌よく過ごす。

水遊びにも慣れて、保育士やお友達がベランダへ向かうと“僕(私)も行く”と両手を出したり声を出してアピールをしたり、また保育士が見守る中、プールの中でも自らパチャパチャしたりと、積極的に水と関わるようになってきました。お散歩に出かけ、大きいクラスのお友達に会うと、優しく声をかけてもらったり、手をつないでもらったりと、こういう時間を大切にしていきたいと思います。夏の疲れも出て来て、体調も崩しやすい時ですので、午睡を十分にとり、水分補給をするなど配慮しながら、一人一人の生活リズムを大切に過ごしていきたいと思います。(中村)



●りす組(いちご・もも) **今月の目標** 散歩や戸外遊びを通して、身体を動かすことを楽しむ。身の回りのことを自分でしようとし、「できた!」という満足感を味わう。

8月は天気の良い日が多く、たくさんプール遊びができました。水にも慣れ、保育士と水のかけ合いをしたり、座って足をバシャバシャしたりとダイナミックに遊ぶようになりました。またその中で、「かして」「じゅんぱんこ」「どうぞ」と言葉で伝えながら玩具の貸し借りができるようになり、とても成長を感じました。自分の思いを言葉で伝えようとしたり、衣服の着脱も「自分で!」とズボンのあげさげをしたりと、“自分でする”という意欲が少しずつ出始め、側で見守りながら必要な援助をし「できた!」という満足感を味わえるよう丁寧な保育をしていきたいと思います。(安田ゆ・伊達)



●うさぎ組(赤) **今月の目標** 順番や待つことなど簡単な約束を守る。

毎日ジリジリと照りつく暑さが続いた8月でしたが、子ども達は夏を元気いっぱい過ごしました。この時期ならではの水遊びを通して、子ども達は「気持ちいい」「冷たい」などの感覚や「楽しい」「なんでだろう」などの感情を味わいました。また、水着に着替える時も、手足を動かして自発的に着脱したり、脱いだ衣服をたたむことが出来るようになりました。これは大きな成長だと感じています。9月に入り、暦の上では秋になります。秋の気配を探しに散歩に出掛けたり、10月の運動会に向けて身体を使った遊びを楽しみたいと思います。(山本)



●うさぎ組(白) **今月の目標** 身体を動かす楽しさを一緒に味わう。

8月は暑い日が続き、子ども達は大好きなプール遊びを満喫しました。初めはお水が苦手だった子も、少しずつ慣れてきて、自分からプールかばんを持ってきて着替えたり、衣服の着脱もできるところは自分で取り組み、脱いだ服もきれいにたたむ習慣が出来てきました。「自分でできた!!」が自信へとつながってきているように思います。これからも、子ども達の力を大切に見守り、できた喜びをみんなで共感しながら過ごしていきたいと思います。(矢下)

## クラスの様子【9月号】

### ●とちのき組 今月の目標 季節の変化を感じながら戸外遊びを楽しむ。

プール遊びや水遊びを通して、“水の冷たさ・心地よさ・楽しさ”を友だちや保育士と共有しあいながら楽しく過ごしました。子ども達は水の苦手な子に対して、水をかける量を調節したり、水をかける場所(背中や腕)を考えたりと相手を気遣う優しさがみられ、とても嬉しく思いました。また、8月後半にはプール遊びが苦手だった子が「プール好きになった!」と伝えてくれて、周りの子ども達の力の大きさを感じました。水が苦手だった子も意欲的に水と関わって遊べるようになり子ども達の成長を感じました。これからも自分だけでなく相手のことも考えられるような優しいクラス集団になってほしいと思います。9月からは運動会に向けて運動遊びを取り入れて身体作りをしていきたいと思えます。(谷口)



### ●くぬぎ組 今月の目標 運動あそびに積極的に取り組み、楽しく身体を動かして遊ぶ。

8月はプールや水遊び、泥んこが中心の活動でしたが、一人ひとりがその子なりの楽しみ方で楽しんでいました。また、園庭のセミやトンボをつかまえようと網を手に元気いっぱい走り回っていました。製作では、手作りの船を作ったり、画用紙に絵を描いたり、様々なものを作りました。“自分で考えて作る・描く”ということができるようになってきています。これからも製作に取り組む中でイメージを膨らませて様々なものを作っていければと思います。(平塚)



### ●さくら組 今月の目標 季節の移り変わりを肌で感じ、その変化を楽しむ、体をたくさん動かしてあそぶ。

朝方や夜はぐっと涼しくなり、秋の訪れが感じられるようになってきました。夕方は戸外でも過ごしやすくなってきたため、保育園でも園庭であそぶ時間が多くなってきました。特にさくら組では“戸外で”“自由に”あそぶ時間を大切にしており、できる限り戸外で時間を過ごせるようにしています。あそびを自ら選択し、十分に体を動かし、楽しむ。そのことが子ども達にとってはとても重要なことなのではないかと思えます。ぜひ、ご家庭でも“秋の涼しさを肌で感じながら戸外であそぶ”そんな時間を作ってもらえたらと思えます。(安田)

